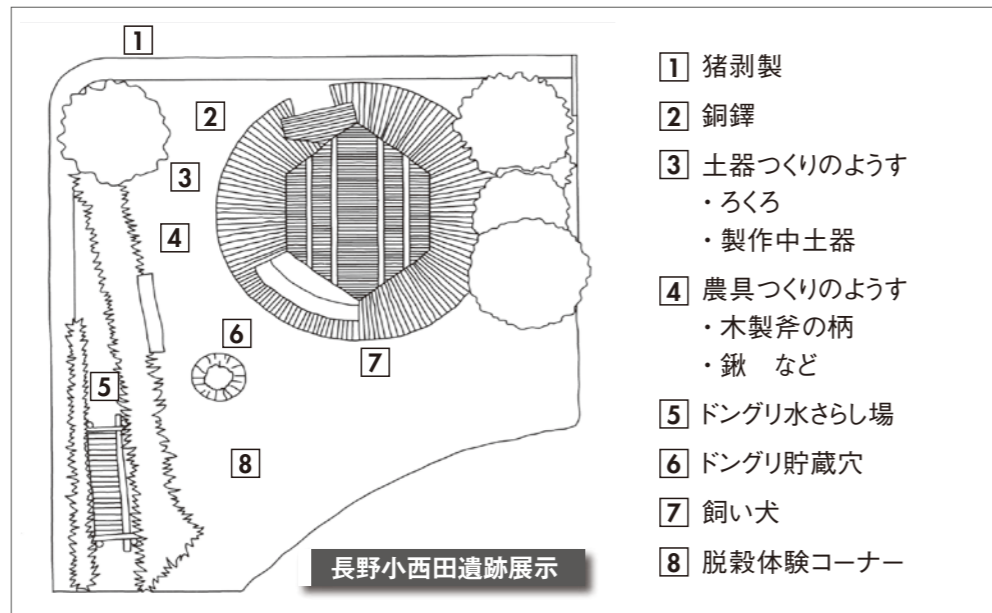


# 探究館の展示案内 / 弥生時代復元住居

場所	展示
竪穴住居内部	家族の人形 ・石包丁を作っている父親 ・石槍をもつ男子 ・米をとぐ母親 ・木の枝をもつ女の子
	食べ物 ・干されている稲 ・米 ・柿 ・栗 ・山芋 ・干し魚 ・火であぶられている魚 ・貝
	土器 ・甕…2 ・壺…2 ・高坏…1
	道具など ・土笛 ・石包丁 ・石囲いの炉

◎ 考古探究館見取り図



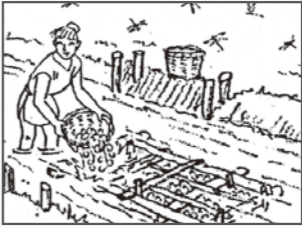





竪穴住居の外

- ・ ここでは、北九州市小倉南区の長野小西田遺跡をモデルに、弥生時代の暮らしが体感できるよう再現しています。季節は秋です。
- ・ この遺跡ではドングリのアクを抜くための「水さらし場」やドングリの貯蔵穴が見つかっています。「水さらし場」は、川の底に割り裂いた木で枠を作ったもので、長さ30数メートルにもおよぶ大規模なものでした。このムラでは、米だけでなくドングリも大量に食料としていたことが分かります。




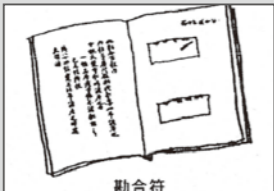
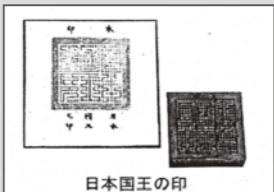
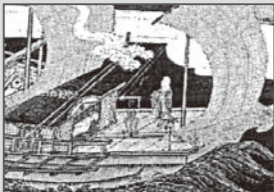
長野小西田遺跡出土品

- ・ ドングリ貯蔵穴断面 ・小型壺 ・袋状口縁壺 ・脚付短頸壺 ・長頸壺型土器
  - ・ 壺型土器 ・器台 ・砥石 ・叩石 ・太型蛤刃石斧 ・挟入柱状片刃 ・石鎌
  - ・ 平鍬未製品 ・把手付き容器 ・石斧直柄未製品 ・扁平片刃石斧
  - ・ 柱状片刃石斧 ・石剣 ・石包丁 ・皮袋形土器 ・鐸型土製品 ・鉄製鋤、鋤先
  - ・ 鉄製鉋 ・青銅製鋤先 ・パネル「長野小西田遺跡」
- ※ この時代の道具の中心は、石でした。鉄、青銅器が使われ始めた時代です。







# 探究館映像 / 弥生の暮らし

画面	ナレーション
<p>1 北九州の弥生のムラ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 石包丁で稲の穂を摘み取る様子。</li> <li>○ 高床式倉庫に稲を保管する様子。</li> <li>○ ムラの中の生活の様子                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機を織る人</li> <li>・ 犬をおいかける子どもたち</li> <li>・ ドングリ水さらし作業</li> </ul> </li> </ul>	<p>弥生のムラに実りの秋が訪れました。</p>  
<p>2 祭り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鳥の姿の男の踊り</li> <li>○ 祭りに参加する人々                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 銅鐸を鳴らす人</li> <li>・ 楽器を演奏する人</li> <li>・ 踊る人</li> </ul> </li> </ul>	<p>男たちは、鳥の姿を装い踊りました。</p>  <p>弥生の人たちは、豊作を神に感謝する祭りを行いました。収穫を祝って歌い、踊ります。</p>
<p>3 埋葬</p> <p><b>テロップ</b></p> <p>「死する停喪十余日、時に当りて肉を食わず、喪主哭泣し、他人就いて歌舞飲酒す。」</p>	<p>弥生時代は、病気や怪我で亡くなる人が多い時代でした。巫女が死者の霊を鎮め、舞を捧げます。</p> <p>魏志倭人伝に人が死ぬと14日喪に服して、肉を食べず、喪主は泣き叫び、ほかの人は、酒を飲み、歌い、舞うと記されています。</p>  
<p>4 争い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 弥生のムラの戦闘場面                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環濠集落</li> <li>・ 弓矢</li> <li>・ 盾と剣をもって戦う人</li> </ul> </li> </ul>	<p>弥生のムラでは、時には争いも起こりました。ムラまわりの柵や壕が、大きな役割を果たしました。</p>
<p>5 春のムラ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 田おこし</li> <li>・ あぜづくり</li> <li>・ 田植え</li> </ul>	<p>穏やかなムラの営みがまた始まります。</p> 



# 遣明船シアター / 門司が支えた遣明船 ①

画面	ナレーション
<p>1 門司五郎左衛門祐盛</p> 	<p>古代から、海の路は門司をはじめ北九州の人々の活躍の舞台でした。</p> <p>祐盛 「儂はいまからおよそ600年前の室町時代、明と往復した遣明船の船頭、門司五郎左衛門祐盛じゃ。」</p>
<p>2 勘合貿易と和寇</p> <p>・筑紫の商人肥富と 將軍義満の会話</p> 	<p>当時和寇が、たびたび朝鮮や明を襲っていた。</p> <p>祐盛 「明としちゃあ、勘合貿易を行うことで、和寇の取り締まりを求めたというわけよ。」</p> 
<p>3 勘合貿易の起こり</p>  <p>勘合符</p>  <p>日本国王の印</p>	<p>祐盛 「この頃、明から帰った筑紫の商人肥富は時の將軍足利義満に、貿易を行うと大きな利益があると説いたんだ。」</p> <p>義満 「何、明の永楽帝が貿易を望んでおるのか」</p> <p>肥富 「仰せの通り、さすれば將軍様にも莫大なご利益が」</p> <p>義満 「うん。」</p> <p>祐盛 「こうして將軍義満が遣明使節を送り勘合貿易がはじまった。」</p> <p>祐盛 「勘合符という合札で和寇と区別したというわけだ。」 「明の永楽帝は義満に日本国王の印と勘合符百枚を与えた。」 ※ 1401年(応永8)に3代將軍義満が遣明船を渡航させ、通商を求めたのをきっかけに日明貿易が始まる。実際に勘合貿易が始まったのは、義満が將軍職を退いた後の1404年(応永11)だった。</p>
<p>4 貿易船の活躍</p> 	<p>祐盛 「船は門司で仕立てたものよ。真如堂縁起に絵が残ってる。船は外洋を渡るため、かなり大きいし、東シナ海を乗り切るんじゃから箆を張った帆を2枚も使った。」 「儂は第12回遣明船の時、公方船の和泉丸の船頭となった。儂たちは優れた航海技術をもっていたんじゃ。」</p>

# 遣明船シアター / 門司が支えた遣明船 ②

画面	ナレーション
<p>5 嵐の中の遣明船</p> 	<p>祐盛 「遣明船には門司の大通寺の僧が乗ったこともあったとじゃ。坊さんは銭勘定も得意だったんだ。湊門司はあらゆる面で遣明船を支えたのよ。」</p> <p>○ 照明暗くなる(雷のストロボ)</p>
<p>6 遣明船の積荷</p>  	<p>祐盛 「海はいつも優しくはなかったぜ。」 「凄い嵐とも儂たちは闘ったものよ。門司の船方は船を操る腕は誰にも負けなかった。」</p> <p>○ 展示の照明が甲板の荷を照らす。</p> <p>祐盛 「日本から刀剣や硫黄、銅それに扇や蒔絵の箱などの工芸品が輸出されたんじゃ。」</p> <p>祐盛 「ほら、そこの積荷を見てくれ。」</p> <p>祐盛 「明からは永楽銭、絹織物、陶磁器、書画、書籍などを輸入した。」</p> 
<p>7 勘合貿易の断絶</p>  	<p>祐盛 「その後博多の商人を支配下にもつ守護の大内氏が貿易を独占するようになった。」</p> <p>盛んな勘合貿易でしたが、大内氏が滅んで途絶えました。</p> <p>しかし、公の貿易は途絶えても海に生きる者たちの交流はその後盛んに行われました。 海は自由の世界です。</p>

## 長野城合戦模型解説ナレーション

模型の演出	ナレーション
<p>1 畝状空群の工事場面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>親方に指揮された百姓たちが空堀を作っている。女性も作業に参加している。</li> </ul> <p>《男女の力仕事の声》 土堀り 《掘る音》 仕上げ 《照明—土堀り、仕上げをスポット》</p>	<p>長野城は長野氏が築いた戦国時代を代表する山城です。永禄8年6月、長野城は大友勢の攻撃を受けました。</p> <p>長野城の特徴の一つは斜面に沿って掘られた無数の空堀にあります。 背丈よりも深く土を掘り下げています。この工事には多くの百姓たちが動員されました。</p>
<p>2 城櫓、逆茂木、矢来などの防御施設</p> <p>《照明—城櫓にスポット》</p> <p>《照明—矢来にスポット》</p> <p>《照明—逆茂木にスポット》</p>	<p>長野城の防御の構えは厳しいものでした。櫓を設け、昼も夜も見張りが敵の動きを監視しました。</p> <p>矢来が張りめぐらされていました。この間から下の敵に向かって矢を射ったり、鉄砲を撃ったりしました。</p> <p>また、切った木を下に向けて構える、いわゆる逆茂木を並べ、攻め登る敵を阻みました。</p>
<p>3 大友勢の隊別構成</p> <p>《兵士たちの声、エイエイオー》</p> <p>《照明—大友勢にスポット》</p>	<p>攻める大友勢は4人の大將がそれぞれに鉄砲、弓矢、槍を備えた兵を引き連れていました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>大友氏の旗印      長野氏の旗印</p>
<p>4 武器（鉄砲・弓矢・槍）を使用する合戦場面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>城兵、大友勢双方の鉄砲が火を噴く。</li> </ul> <p>《鉄砲を撃つ音》 《弓矢が飛び交う音》 《雄叫び》</p>	<p>大友一族は杏葉紋の旗を掲げています。城の守りは強く、兵も果敢に戦いました。この頃、地方豪族の長野氏もすでに鉄砲を持っていたのです。空堀を攻め上がってくる大友勢を鉄砲や弓矢で狙い撃ちにしました。</p> <p>熾烈を極めた戦いは、2か月に及び、長野勢はついに力つき、城は落ちたのです。</p>

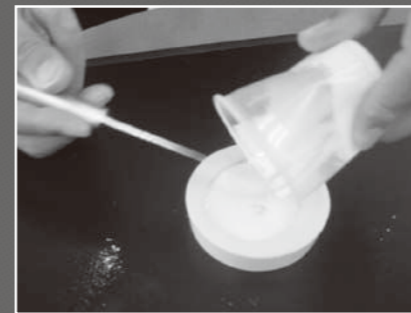
## 体験学習プログラムの利用

いのちのたび博物館では、展示見学だけでなく、博物館で「体験」していただくための「体験学習プログラム」をご用意しております。

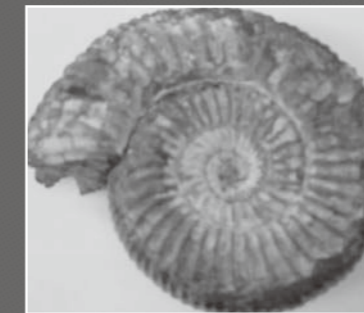


## 化石レプリカづくり

石膏を使ってアンモナイト等の化石レプリカを作ります。固まったレプリカを型から取り出す作業には、誰もがワクワクすることでしょう。実際に本物の化石を見ながら作業を行うことで、観察力を養うことができます。



型に石膏を流し込んでレプリカを作る様子



色を塗ったアンモナイトレプリカ

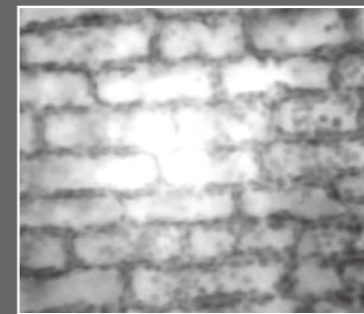
定員	40名程度
持参するもの	なし
時間	50～60分程度
教材費	200円

## ペットボトル顕微鏡づくり

ペットボトルとビーズ玉を使って顕微鏡を作ります。身近なものを利用して、手軽に顕微鏡を作ることができるという新鮮な驚きと喜びを感じることができ、探究心や自然愛護の気持ちを育むことができるプログラムです。ペットボトルホルダーがつきます。



完成したペットボトル顕微鏡



顕微鏡で見るオオカナダモ（約90倍）

定員	40名程度
持参するもの	ペットボトル
時間	50～60分程度
教材費	200円



### 勾玉づくり

弥生時代から古墳時代にかけて身分の高い人たちが身に着けていた勾玉づくりに挑戦するプログラムです。滑石(かっせき)に自分でデザインを描き紙やすりで削ります。形を整えたら、ドリルで穴を開けて皮ひもを通して完成です。世界にひとつしかない自分だけの勾玉が出来たとき、古代のロマンにひたれる気がします。



やすりなどの道具でスムーズに滑石を削ることができます



滑石から勾玉になるまでの過程

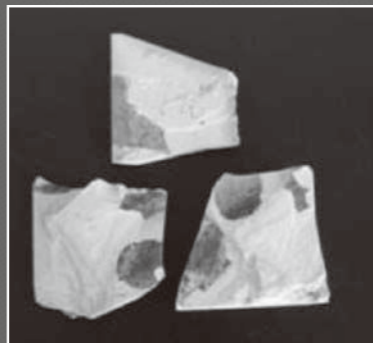
定員	40名程度
持参するもの	なし
時間	50~60分程度
教材費	200円

### 化石の発掘体験をしよう

栃木県の塩原にある化石園の岩石を素材とし、化石の発掘体験を行います。塩原は、保存の良い化石が豊富に産する日本の代表的な化石の産地です。小学校の児童でもハンマーを使って化石を取り出すことができます。植物の化石が多く産出しますが、魚や昆虫類の化石も発見されています。自分で発掘した化石は標本にして持って帰っていただけます。



化石を発掘する様子



発掘した木の葉の化石

定員	40名程度
持参するもの	なし
時間	50~60分程度
教材費	300円

事前申込と別途料金が必要ですので、ご希望の場合は、あらかじめ博物館へご連絡下さい。

※内容については変更する場合がございます。詳細についてはお問い合わせ下さい。

博物館のホームページでは「アクセス・利用案内」「展示案内」「修学旅行・校外学習・団体利用」「博物館の活動」と幅広くのちのたび博物館について紹介しております。学校の先生方には、「修学旅行・校外学習・団体利用」の修学旅行・校外学習のご案内をご覧くださいことを勧めております。

#### 修学旅行・校外学習のページ



博物館のホームページの修学旅行・校外学習のご案内では、「来館までの流れと手続き」「館内見学時間とコース」「館内での体験学習」「周辺施設とモデルコース」「授業での博物館利用」「ダウンロードコーナー」と多くのページを設け、学校での学習に利用していただける情報を数多く紹介しています。特に、「ダウンロードコーナー」では、学校団体が申し込むのに必要な書類や、利用の手引きのワークシートを含む館内で活用できるワークシート、北九州の教科書の流れに沿った「学習内容と展示の対照表」など理科・社会・総合的な学習の時間などの教科に関する資料を自由にダウンロードでき、博物館での学習に役立てるようにしています。



#### ダウンロードコーナー

- ・ 申請書類(団体見学申込書・常設展減免申請書)
- ・ ワークシート(スタンプラリーシートや展示場所に対応したワークシートなど)
- ・ 学習内容と展示の対照表(小学校・中学校における理科・社会)
- ・ 博物館を利用した総合的な学習の時間展開例

<http://www.kmnh.jp/> **いのちのたび博物館** で検索してください